

ペレットストーブ
取扱説明書
A6 SIMPLE

MORETTIDESIGN
— GRUPPO — FUTURE IS NOW

お客様各位

この度は、当社のペレットストーブをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みください。据え付けや使用方法、メンテナンス、安全などに関する重要な注意事項、保障に関する条件などを記載しています。お読みにならずにお使いになった場合は、「不適切な使用方法」つまり「誤った使用方法」とみなされ、保障修理の対象にならない可能性があります。

目次

01-据え付け・設置を行う方へ.....	2
02-ご使用方法.....	6
03-コントロールパネル	10
04-日常のメンテナンス	16
05-エラー	17
06-保障条件と修理のご依頼.....	19

はじめに

ペレットストーブは、木質ペレットを燃やすことで空気を暖める暖房機です。燃料は自動で供給されます。室内の空気がペレットの燃焼での炎によって暖められて、送風機によって室内を循環します。MorettiFire の全ての製品は、CE 認定によって安全な使用が保証されており、全ての機能とパラメーターを管理しています。また、最新ソフトウェアによって、使用者のために暖房機能をよりシンプルで分かりやすくしています。

全ての MorettiFire 製品は、温度調節機能によってストーブのオン/オフを自動で切り替えることができます。また、使用者が頻繁にタンクを補充しなくてもいいように、ペレットタンクは大きく、また自動で供給するようになっています。週に一回は溜まった灰を取り除いてください。

- ・燃焼室に直接ペレットを入れないでください。
- ・起動中にドアを開けないでください。
- ・小さいお子様が本体を触らないように気を付けて下さい。

01-据え付け・設置を行う方へ

ストーブ本体は十分な負荷容量のある床に置いて下さい。建物が要件を満たしていない場合、適切な措置（例えば負荷分散板）を取らなければなりません。ストーブをご使用される際には、ヒーター・煙道・および煙突を掃除していくことが必要となります。同じようなストーブを一部屋で使用する場合、排気ファンで問題が生じる可能性があります。また、ストーブを小さな部屋や可燃性の環境に設置することは禁止されています。

ストーブを取り付ける際には、全ての地方条例とヨーロッパ基準を満たされなければなりません。

梱包

配達の際にはストーブは梱包されております。鋼板製の場合はトップ・サイドカバーが組み立てられた状態ですが、陶器製の場合は別々に梱包しております。取扱説明書と電源ケーブルはペレットタンクの中に格納しております。

開封

ストーブを開封する際は、梱包の紐を切って箱を外してください。

組み立て

ストーブの取り付けの際には、許可を受けている技術者に連絡して下さい。（それ以外の場合は保証の対象外となります）

排出ガス

排気ガスを外へ抜くために、標準規定に従って煙突を設置しなければなりません。他の器具との煙道の共有はおやめください。

燃焼空気

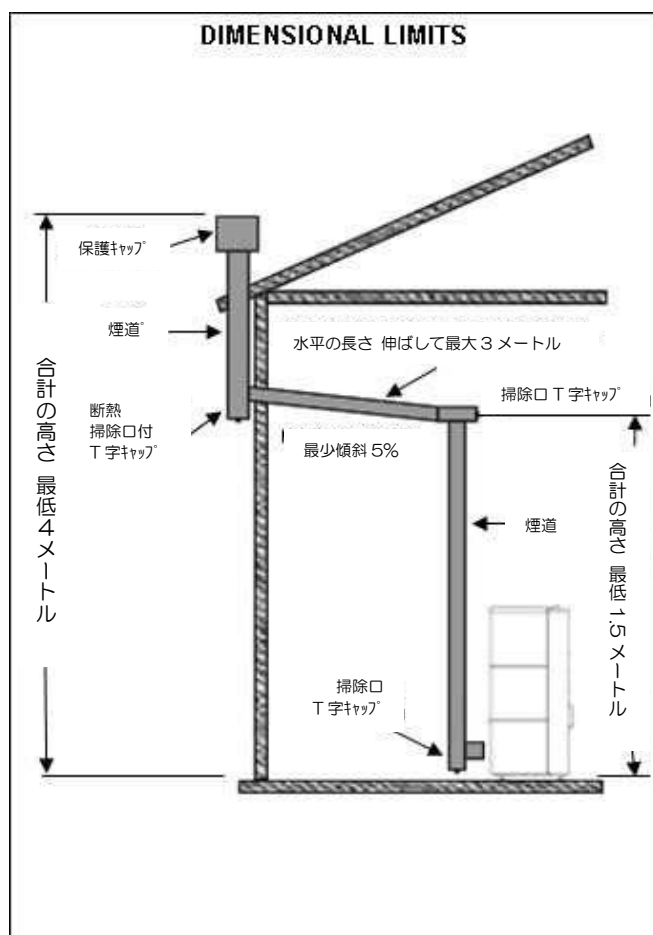
燃焼は空気が必要です。その空気は燃焼ポットの下の給気口から取り込まれます。空気が十分に取れないと悪い燃焼が起こり、室内の空気の悪循環を引き起こします。この問題は、扉や窓が締め切られている現代の高気密住宅では頻繁に発生します。

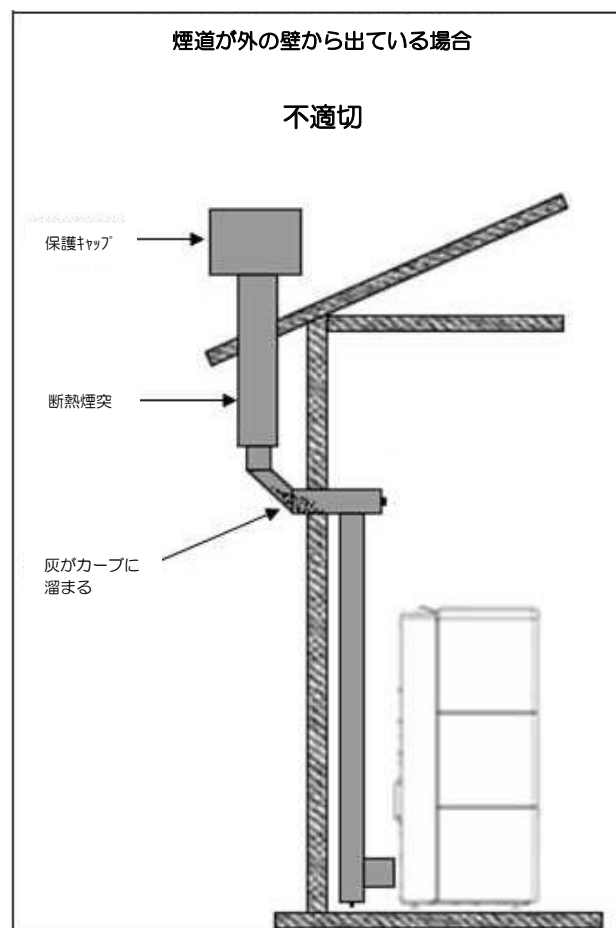
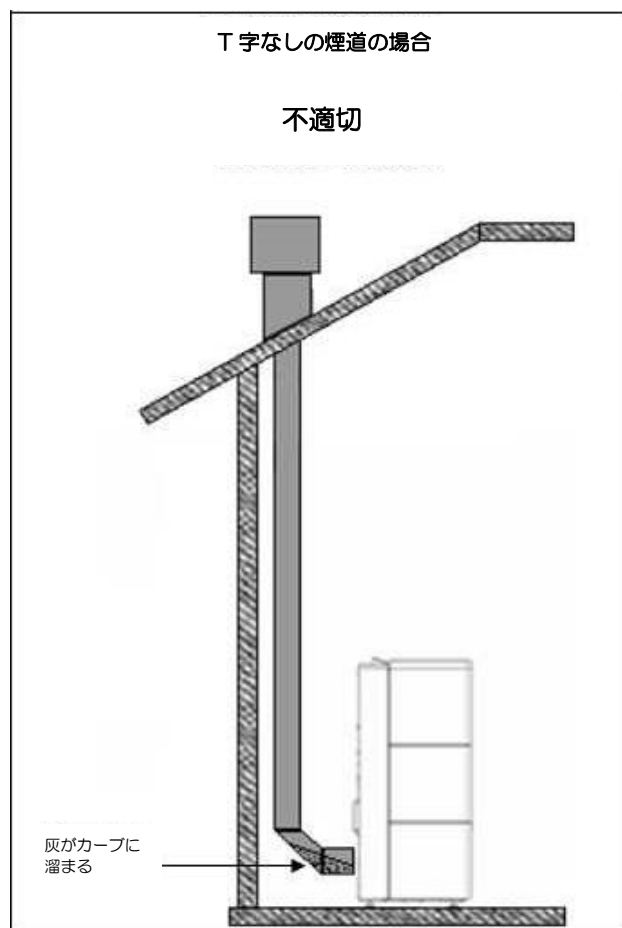
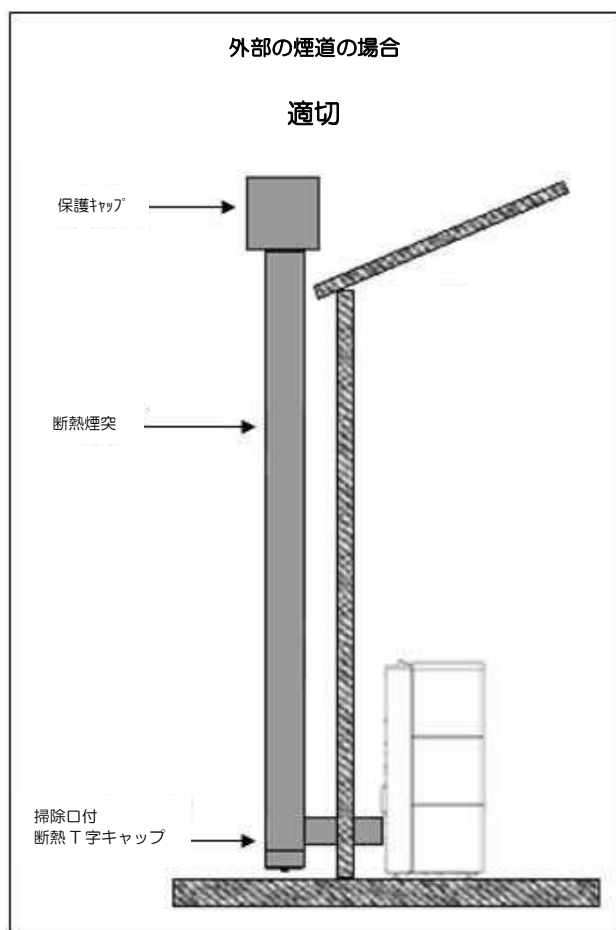
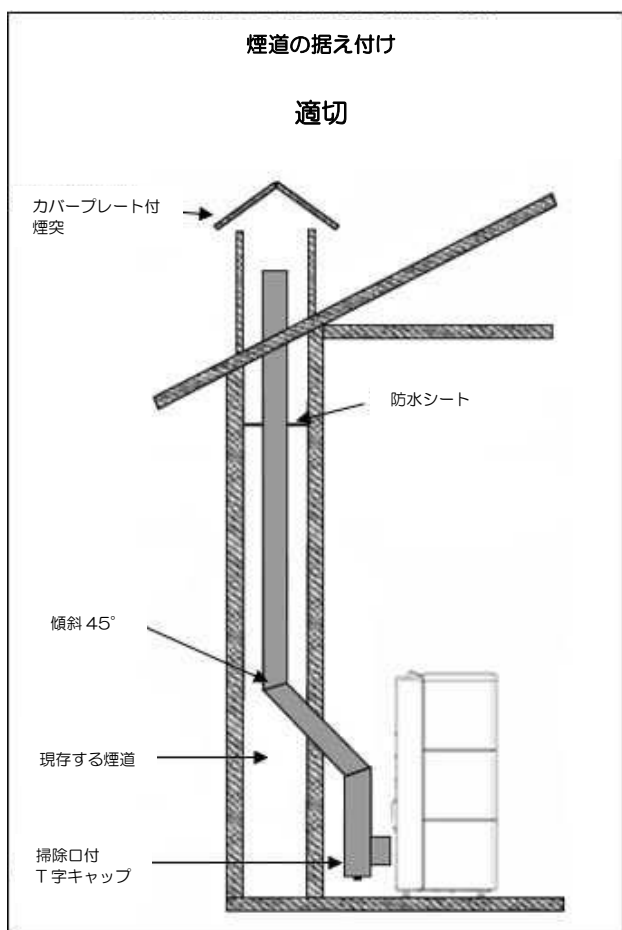
逆に、室内に空気の流れ(例えば通風機など)がある場合、状況はより問題となります。このような問題を回避するために、窓の上またはストーブの近くに室外吸気を取り付けることをお勧めします。

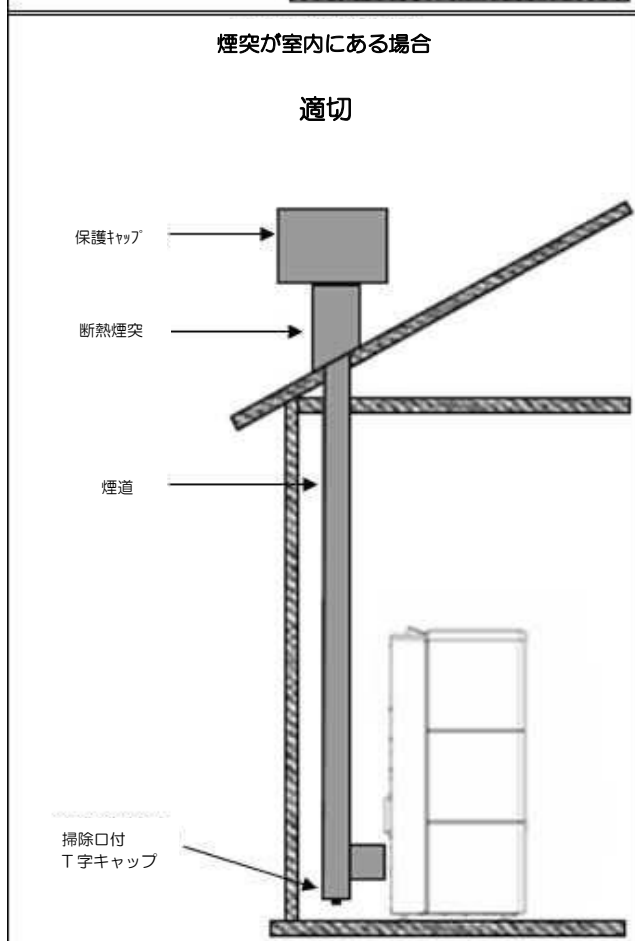
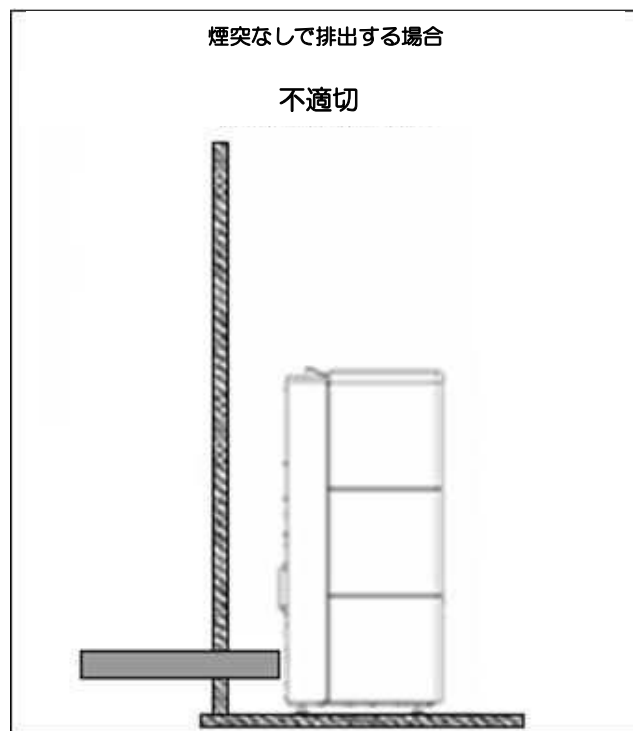
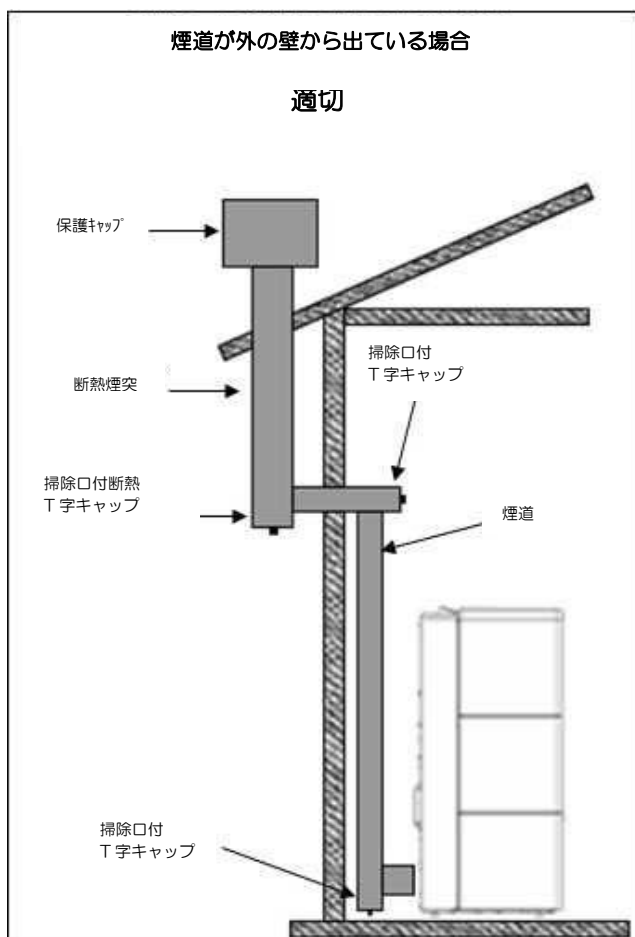
強制給排気式

壁に穴を開けて、そこから室内へ燃焼空気を入れます。これは衛生面と安全面から必要です。必ず穴の格子に空気を入れてください。格子は綺麗にしておいてください。

排煙設置例







危険

- 排気管は標準の規定にそって取り付けてください
- 鋼の管のみをご使用ください
- アルミニウムや合成材料は使わないでください
- 十分な空気供給を保证するため、燃焼用空気管は 2m 以下で、曲がったセクションは 3 つ以下にしてください
- もしゴミが建物の外に出るようなら、末端の部分は 90 度の角度で下へ曲げなければなりません。また、風から守らなければなりません
- 最少の吸い込む空気は 10Pa である必要があります

煙突への接続

- 排煙管の出口が煙突の中の空間を塞がないようにしながら、既存の暖炉の煙突にストーブ本体からの排煙管を接続します。
- 排煙を密閉できるパッキン付きの排煙管だけをご使用ください。
- 平行部分(長さ最大で2メートルまで)と湾曲部の取り付けはできるだけ少なくしてください。

※ 排煙管を煙突の中にあまり深く差し込まないでください。

屋根の上に突き出た部分の煙突

- 屋根の上に出た煙突部分は、次の条件を満たす必要があります。
- ✓ 煙突内部断面は暖炉部分のものと同様のものであること
- ✓ 暖炉の中に雨・雪・関係のない物が落ちてこないように作られていること、また、どの方向から風が入っても確実に排煙できる屋根の勾配であること
- ✓ 煙がほどよく分散し希釈されるように設置されていて、反圧力の形成されやすい煙の流れる範囲の外にあるようにすること。その範囲は、屋根の勾配の角度に応じて異なる寸法と構造であること、そのため、(屋根は)適切な最低の高さに合わせる必要があります。

02-ご使用方法

重要な注意事項

- この部分の内容を注意してお読みください。使用方法、メンテナンス、製品の安全などに関する重要な注意事項が書いてあります。
- この取扱説明書の各内容をよく読み、十分にご理解ください。内容をよく読まず理解しないままご使用になると、本製品を「誤った方法で使用した」とみなされます。
- この取扱説明書は大切に保管し、必要な時はいつでもご利用できるようにしてください。取扱説明書は本製品の一部ですので、所有者が変わる場合は必ず一緒にお渡しください。
- ここに明確に説明されている使用法でのみ本製品をお使いください。(ここに書かれていない)ほかの使用法は適切ではなく、危険な結果を招く可能性があります。
- 本製品を焼却炉として使用しないでください。
- 本製品は、内部も外部も表面部分の温度が非常に高くなる箇所があり、そこにうっかり触れてしまう可能性がありますので、最大に注意を払ってください。
- 燃焼室ドアのガラス部分には絶対に触らないでください。やけどをする危険があります。
- 安全のため、(幼児を含む)ストーブの使用に不慣れな人、経験の乏しい人はお使いにならないでください。
- ストーブ全体で、熱くなる表面との熱交換が活発に行われますので、子供や障害のある方、ペットなどが直接触れないように十分注意する必要があります。
- 燃焼室ドアを開ける際は、やけどをしないためにストーブ用手袋などをお使いください。

- ストープを正しくお使いになるには、必ず燃焼室ドアを閉めた状態にしてください。ドアが破損したり、ひび割れたりして異常が起きた場合、ストープは使えません。
- 故障や運転の具合が悪くなった場合、電源を切り運転を停止してください。
- 修理や部品の交換が必要な場合、ライセンスを持った販売代理店にご依頼ください。純正部品との交換が必要です。
- 修理有資格者以外による、本ストープの分解・改良は禁止されています。
- 給気口や熱排出口を塞がないでください。
- 本ストープを、何かの支えや脚立の代わりに使用しないでください。
- 燃焼ポットの中にペレットを手で直接入れないでください。
- 木質ペレット以外の燃料をタンクの中に入れないでください。
- 電化製品なので、濡れた手でストープに触らないでください。
- 可燃物からは安全に十分な距離を離し、「設置方法」の説明に従って設置してください。

燃料

- 右図に示す質のペレット燃料をお使いください。

良質の木質ペレット -高級ペレットの特徴-

発熱能力	kWh/kg	4,8÷5.2
密度	Kg/m ³	650
水分含有量	%	Max 8%(ペレット重量の)
灰の割合	%	Max 1%(ペレット重量の)
直径	Mm	5-6,5
長さ	mm	20-30
含有物(内容)		100%未加工木材

- 次のような固体燃料の使用は許可されていません。藁、トウモロコシ、果実等の芯部分、松かさ、上記に記載されているもの以外。品質が保証されたペレット燃料を販売代理店へご注文くださるようお願いいたします。（「高級ペレットの特徴」の表をご覧ください。）

ペレットに関する知識

- ペレットは、製材所や木材加工所の間伐材・おが屑・かな屑・木屑などから作られます。このような原材料を粉砕・乾燥・圧縮し、接着材等を一切使用せずに燃料のペレットが作られます。

ペレットの保存方法

- ペレット燃料は乾燥した清潔な場所で保管してください。ペレット燃料が湿ると完璧な燃焼を保証できません。

本体を作動させる

- 本体を作動させるには、まず組み立てと排気管の接続を完了させなければいけません。新品のストーブの場合は、最初の点火後、仕上げの塗料の臭いがするときがあるので、注意して次の手順に従ってください。
 - ー運転開始の段階で、本体から不快と感じられる臭いを発生する可能性があります。この臭いを取り除くために、部屋の窓を開けて風を通してください。
 - ーストーブの塗料が完全に乾いたら、加熱の段階になります。

燃料の供給

- 燃料を補給する際は、十分に注意してください。ストーブの熱くなっている部分に、ペレットのビニール袋が触れないようにしてください。
- 袋の切れ端や異物が燃料タンクの中に入らないように、最大限の注意を払ってください。燃料タンクにペレット以外のものが入ると燃料供給スクリューに詰まり込み動かなくなる可能性があります。
- 上蓋を取り外したら、ペレットを高い位置から入れてください。ストーブが運転中の場合には、火傷をしないように手袋などをお使いください。燃料不足が原因でうっかり炎が消えてしまわないように、タンクの中のペレット残量を頻繁に点検することをお薦めします。タンクの蓋は燃料補給の時以外、常に閉まっている状態にしてください。

基本的な注意事項

- メンテナンス作業を行う前に、必ずストーブを消して室温に下がるまで放置してください。
- 後部の運転スイッチを消した後で、電源プラグを抜いて下さい。
- 運転中に急にストーブのプラグを抜いたり、後部の運転スイッチを押したりしないでください。このような操作は排煙モーターを含む全てのモーターを同時に停止させ、ストーブ内部の排煙を妨げることになり危険です。

安全装置

排気ファンの破損

何らかの原因でファンが壊れ安全装置が作動した場合、ペレットの流れが止まり、アラームが点灯し、ストーブの機能が停止します。

オーガーモーターの破損

オーガーモーターのペレット供給が停止した場合、システムは最低限のレベルで機能し続けた後、アラームが点灯し、ストーブが停止します。

温風ファンの破損

温風ファンが停止した場合、アラームがオフになり、システムが停止します。

点火の失敗

点火が失敗した場合、安全モードになりシステムが停止します。バーナーが綺麗か、きちんと取り付けられているか確認をして下さい。

電気保護

システムは 2.5A のヒューズで保護されており、ストーブ本体後ろに配置しています。

それを交換するためには、電源から電源ケーブルを外した後、スイッチの隣のトレイを取り出し、壊れたヒューズを交換し、トレイを再度挿入してください。また新しいヒューズがすぐに壊れた場合は、担当者までお問い合わせください。

排煙の安全性

排煙が変則的になった場合、アラームが点灯し、システムが停止します。

ペレットの安全

ペレットのタンク内の温度が安全レベルを超えた場合、システムが停止します。回復は自動的に行われますが、資格のある技術員に連絡してください。

電源障害

電源における短い電源障害があった場合、システムはブロック状態になります。電力欠如が短時間ではない場合は、少量ではありますがストーブの煙が部屋に入る可能性があります。

これは、煙道の通り道に問題がある場合や、いくつかの危険を避けられなかったことにより生じます。電源が復帰したときに、システムが自動的にオフになります。

点火の故障

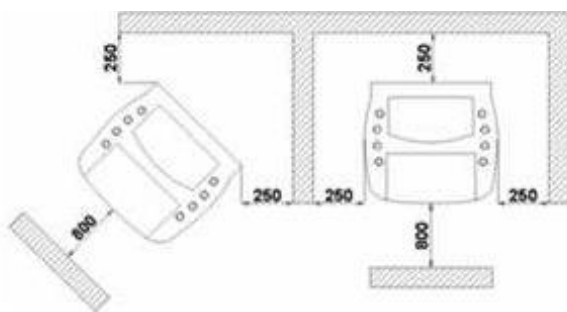
点火が失敗した際、別のバーナーに換える前に掃除をしてみてください。その後、もう一度点火を試みてください。

バーナーが掃除されていない場合、次の点火で燃焼室内の爆発を引き起こす可能性があります。

支障が生じた場合、製造業者は人・動物・物への損害に対して一切の責任を負うことはありません。そして、煙突火災を見つけた場合は、消防隊を呼んでください。

最低離隔距離

ストーブから十分な距離をとってください。

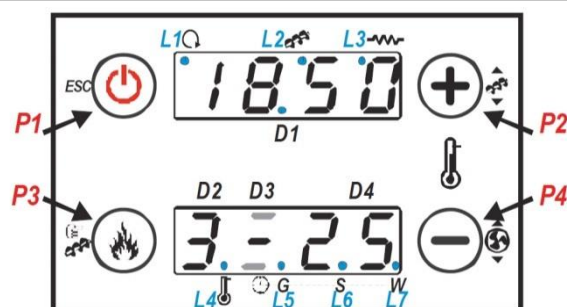


第一点火

注意: 最初の点火はシステムの全体的な検査をする必要があるため資格があるものによって行ってください。

装置を使用する場合には、全ての地域および国の法律や欧州規格を満たしている必要があります。

03-コントロールパネル



ボタン操作

Led	クリック	長押し
P1	モニター / メニューへ戻る	着火・消火 / ブロック解除(エラー時)
P2	温度設定(+)	供給ペレット投下量
P3	燃焼パワー設定 / 保存する	手動でのペレット供給
P4	温度設定(-)	排気ファン調整

操作と設定については、USER MENU をご覧ください。

ランプ表示

Led	記号	説明
L1		点灯:送風ファン ON
L2		点灯:ペレット供給モーターON
L3		点灯:点火ヒーターON
L4		点灯:設定温度に達しました
L5		G 点灯:日中タイマー設定中
L6		S 点灯:週間タイマー設定中
L7		W 点灯:週末タイマー設定中

画面表示

画面	説明
D1	時間・動作状況・エラー・メニュー・サブメニュー・数値
D2	パワー・信号
D3	方法
D4	設定温度・信号

その他メッセージ

信号	説明
Sond	センサー異常です。このメッセージは、状態確認中に表示され、読み取った温度が最小値(0℃)または最大値と等しいことを示します。センサーが外れていないか、またはショートしていないか確認して下さい
Hi	室温が 50℃を超えています
SERU	機能時間を超えました。技術者へ連絡して下さい
PULi	機能時間を超えました。点検の必要があります
OFF dEL	着火時に手動で消火させた時に表示されるメッセージです

D1 画面

画面表示	説明
CHec	状態確認
On1/On2/On3/On4	着火
On5	安定
Mod	エコ運転
StbY	スタンバイ
	通常
SAF/Erxx	安全
OFF	消火
rEc	再着火
Alt/Erxx	ブロック(エラー時)

エラーが発生した際のブロック解除は、P1 ボタンの長押しで行えます。

USER MENU

モニター

信号	説明
tA	室内温度
tF	排煙温度
UF	排気ファンの回転数[RPM/Volt]
FL	一次空気の流れ
FC	ファームウェアコード: FYSD02000064.00.00
464	メーカー製品コード: 0Y.0X

燃焼パワーの設定

P3 ボタンを押すと、ディスプレイ D2 が点滅します。P3 ボタンを押して、燃焼パワーを設定して下さい。

設定範囲:1-2-3-4-5-A(A=自動燃焼)

選択して 3 秒待つと点滅が停止し、新しい設定値が保存されます。

燃焼パワーを選択する中に、A(Auto)という自動燃焼設定を選択することができます。Auto を選択すると、システムは自動的に燃焼電力を調整し、ストーブの室内設定温度に調整します。実際の室内温度と設定温度の値の差が大きいほど燃焼パワーが高くなるよう設定されています。

手動でのペレット供給

P3 ボタンを長押しすると、オーガーが連続的に回転し、ペレットを供給します。下部のディスプレイには「LoAd」と表示され、上部のディスプレイにはペレットを供給するオーガーの回転時間が表示されます。どれか他のボタンを押すと、オーガーの回転は停止します。また、起動させてから 300 秒後には自動的に停止します。初回の着火時や燃料切れでペレットを補給した際はオーガー内にペレットが充填されていないため、この作業が必要になります。

ペレット投下量調節

P2 ボタンを長押しすると設定画面へ行き、下部のディスプレイは「Pel」、上部のディスプレイには設定値が表示されます。P2 ボタンまたは P4 ボタンでペレットの投下量を増減することができます。初期値は 0 です。値を選択した 3 秒後には新しい設定値が保存され、メイン画面に戻ります。

排気ファン調整

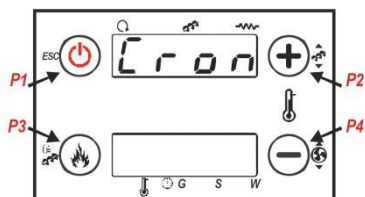
P4 ボタンを長押しすると設定画面へ行き、下部のディスプレイは「UEnt」、上部のディスプレイには設定値が表示されます。P2 ボタンまたは P4 ボタンで排気ファンの回転数を増減することができます。初期値は 0 です。値を選択した 3 秒後には新しい設定値が保存され、メイン画面に戻ります。

ユーザーメニュー2

P3 ボタンと P4 ボタンを同時に 3 秒間長押しして、ページへアクセスします。

画面	説明
Cron	タイマー設定
Eco	エコ運転とスタンバイモードの設定
orol	時計の設定
tELE	リモコン設定
tPAr	システムメニュー(技術者専用ページ)

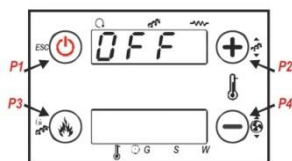
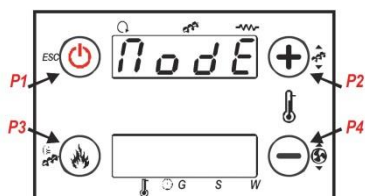
タイマー設定



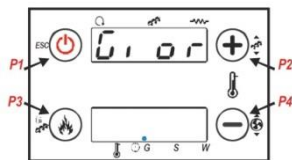
メニュー画面から Chrono を選択し、決定ボタン(P3)を押します。
Chrono へ入ると、Mode と Program があるので、それぞれ設定します。

Mode

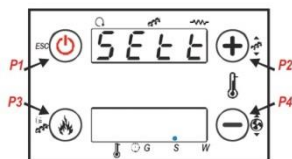
どのタイマープログラムを使用するか選択します。



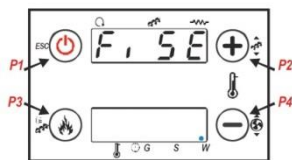
OFF…タイマー機能無効。プログラムが設定されていても作動しません。



Giorno(日)…曜日ごとにタイマーを設定します。

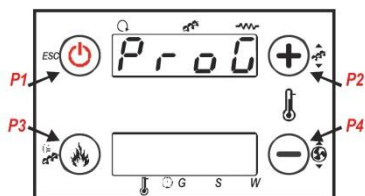


Settimana(週)…設定したタイマーを週間毎日作動します。



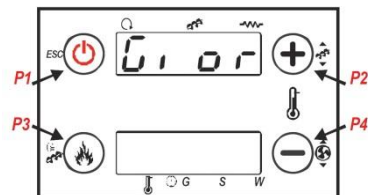
Fine settimana(週末)…月～金・土～日を分けて、タイマーを設定します。

Program



タイマープログラムを設定します。

■Giorno(日)

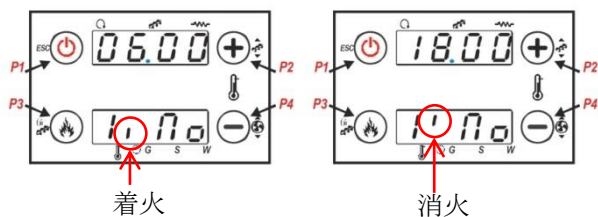


・曜日ごとに 3 パターンのプログラムを設定できます。設定したい曜日を選択し、決定します。

曜日表示[月 Mo][火 tu][水 WE][木 tH]

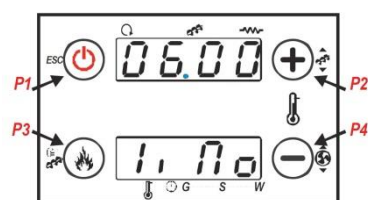
[金 Fr][土 SA][日 Su]

・着火時間の設定時は「,」、消火時間の設定時は「'」を入力します。



・電源ボタン(P1)を長押しすると「----」の表示が「0000」に切り替わります。時間を入力します。

(例)プログラム① Monday(月曜) 6:00 に着火



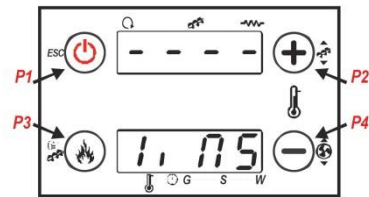
※00:00 では入力せず、必ず着火・消火の時間をそれぞれ設定して下さい。



・設定後、Mode で Giorno を選択して下さい。

■Settimana(週)

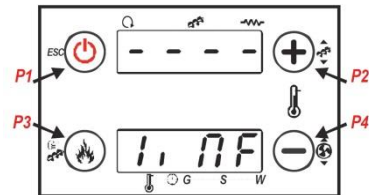
(例)プログラム① 着火 Mon(月)～Sun(日)1 週間設定



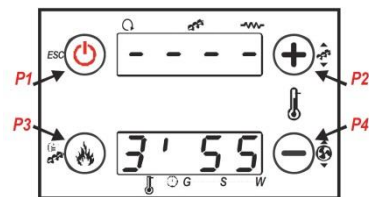
- ・週間まるごとのプログラム設定を行います。毎日作動します。
- ・ON で着火したい時間、OFF で消火したい時間を入力します。
- ・設定後、Mode で Settimana を選択して下さい。

■Fine settimana(週末)

(例)プログラム① 着火 Mon(月)～Fri(金)設定



(例)プログラム③ 消火 Sat(土)～Sun(日)設定



- ・月～金・土～日に作動するプログラムを設定します。
- ・設定後、Mode で Fine settimana を選択して下さい。

エコ運転メニュー

スタンバイモードの ON・OFF を設定することができます。

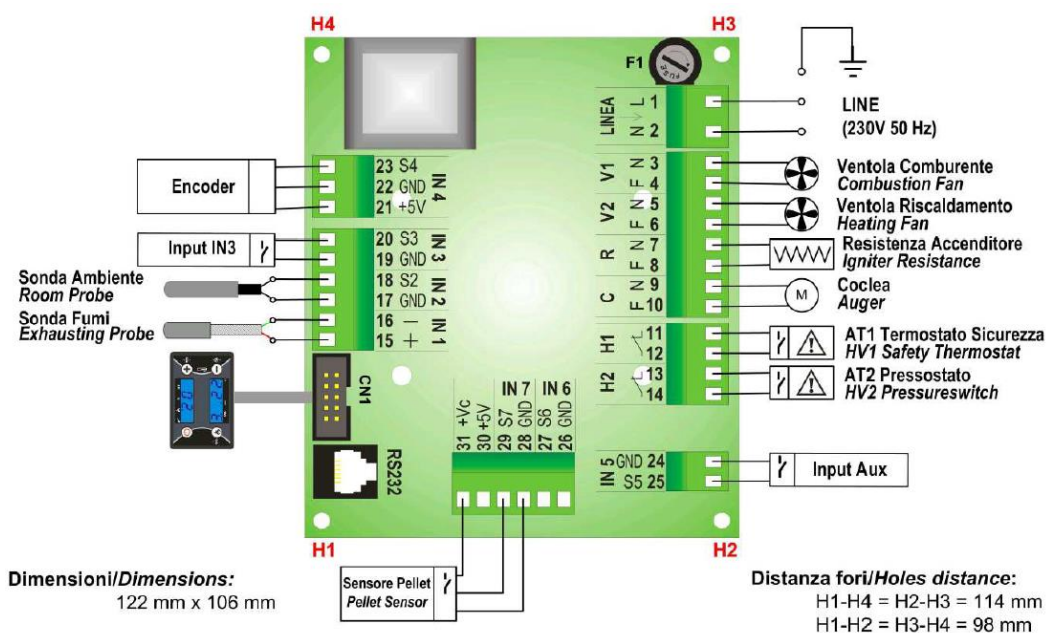
OFF の場合、設定温度に達するとストーブがエコ運転に入り、最少火力で燃焼します。

ON の場合、設定温度に達するとストーブがエコ運転に入り、その後スタンバイモードに入ります。スタンバイモードに入ると、ストーブは消火し、室温が低下すると自動的に着火します。

時計設定

ここでは、日時を設定することができます。上部のディスプレイには時間が表示され、下部のディスプレイには曜日が表示されます。

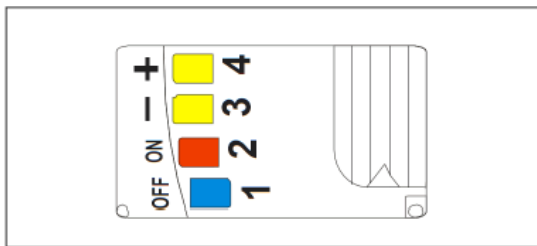
説明	画面
P3を押して編集モードにします。選択した値(時、分、日)が点滅し始めます。P2 ボタンまたは P4 ボタンで値を変更します。P3 ボタンを押すと他のパラメーターの編集に入ります。P3 ボタンを押して、選択した値を保存します。	07.33 Mo (7 時 33 分月曜日)



PIN	機能	技術的特徴
1	N	メインパワー供給
2	L	
3	N	排気ファン
4	L	
5	N	過熱ファン
6	L	
7	N	点火抵抗
8	L	
9	N	オーガーモーター
10	L	
11		安全サーモスタット入力 AT1
12		
13		安全スイッチ
14		
15	Red+	排出煙の温度検知
16	Green-	
17		室内検知
18		
19		予備検知
20		
21	+5V	符号器信号
22	GND	
23	SEG	
24		予備入力:タイマー/室内サーモスタット
25		
28	GND	ペレットレベルセンサー
29	SEG	
31	+V	
CN1		コントロールパネルの接続子
RS23		接続子 RS232

リモコン操作(オプション)

- 1 のボタンを押すとストーブの電源を消します。
- 2 のボタンでストーブの電源をつけます。
- 3 と 4 のボタンでパワーを増加・減少します。



04-日常のメンテナンス

- ペレットストーブを清掃とメンテナンスの頻度は、使用するペレットのタイプとその使用量によって異なります。湿ったペレット燃料、灰、燃えかす、木くずや化学添加物などは、メンテナンスをする必要がある回数が増えることにつながります。そのため、弊社が推薦する本製品に適した木質ペレット燃料のみご使用くださるようもう一度お願い申し上げます。

● 燃焼ポットの清掃

ペレットストーブを最良の条件でご使用いただくためには、毎日燃焼ポットを丁寧に清掃する必要があります。冷めてから燃焼ポットを引き出し、ペレットの燃えかすを捨て(燃えかすがまだ熱い可能性もあるので、十分注意してください。)燃焼ポットの底を綺麗に掃除してから、元の位置へ確実に戻してください。

灰受け皿の清掃

- 灰受け皿は燃焼室の下の方にあり、取り出すときは燃焼室のドアを開けます。
- 灰受け皿を外に取り出します。
- 灰受け皿の燃料の燃え残りを毎日取り除きます。この作業は、ストーブが完全に冷えた時に行います。まだ熱い燃えかすに十分注意して作業してください。
- 灰受け皿を元の位置に戻し、燃焼室ドアを閉めます。運転の際、皿が正しく元の位置に戻っていないと、危険が生じる可能性があります。

燃焼室の毎日の清掃

- 空気口が灰やペレットくずで塞がれないように、燃焼室を常に点検する必要があります。燃焼室はペレットストーブ専用掃除機を使って簡単に内部を掃除することができます。燃焼ポットに付着した汚れは、道具を使って取り除いてください。
- 燃焼ポットを取り出した後、点火ヒーターの中に堆積物がある場合は取り除いてください。燃焼ポットを元に戻す時、ポットの側面にある大きい穴が点火ヒーターに合うように確認してから入れてください。

05-エラー

エラー	説明	原因	操作	それでも直らない場合…
ER01	サーモスタットの安全装置が働きました。スイッチを切ってください	温風ファンの故障	ブロック解除し、ファンの機能が正常であるか確かめてください	もしファンが故障している場合は、指定の専門家へ連絡をお願いします
		サーモスタットの故障	ブロック解除し再度ストーブをつけてください。それでも <u>すぐに</u> エラーが出るようなら、サーモスタットまたはコントロールユニットが壊れています	エラーが出続ける場合は、指定の専門家へ連絡をお願いします
		コントロールユニットの故障		
		ペレットタンク内の温度上昇	ブロック解除しストーブをつけてください。もし再度エラーが出たらスイッチを切ってください	
ER02	排管が塞がっています。スイッチを切ってください	排気管の煙道が塞がっている	排気管の煙道を掃除する必要があるなら、ブロック解除をしてから掃除をして下さい	エラーが出続ける場合は、指定の専門家へ連絡をお願いします
		排管に風が入ってきています	ブロック解除をし、排煙の調整が必要かどうかを確認してください	
		負圧センサーの故障	ブロック解除をし、それでも <u>すぐに</u> エラーが出るようなら、負圧センサーまたはコントロールユニットが壊れています	
		コントロールユニットの故障		
ER03	排気温度が低いです。スイッチを切ってください	ペレットタンクが空です	ブロック解除をし、ペレットを補充してください	ペレットタンクを補充してください
		オーガーが塞がっています	ブロック解除をし、バーナーを掃除して、再度点火してください	バーナーの中にペレットがない場合、指定の専門家へ連絡をお願いします
		オーガーモーターの故障		
		排気ガスの温度感知が壊れています		指定の専門家へ連絡をお願いします
ER05	排気温度が高いです。スイッチを切ってください	排気ガスの温度計が壊れています	もし停止段階でも煙の温度が高い場合は、温度計が壊れています	指定の専門家へ連絡をお願いします
		ストーブが汚れています	ブロック解除をし、ストーブを切ってください。再度エラーが出た場合は、ストーブを掃除して下さい	

	耐震装置が作動しました(本体が揺れを感知しました)	耐震装置が故障しています	ブロック解除をし、ストーブを切ってください。もしエラーが再度出たら、配線が抜けていないか、本体が傾いていないかを確認してください	
ER07	エンコーダーエラーです。スイッチを切ってください	エンコーダーへの信号がありません	ブロック解除をし、ストーブを付けてください。再度エラーが出た場合、排気ファンがコントロールユニットが壊れています	指定の専門家へ連絡をお願いします
ER08	エンコーダーエラーです。スイッチを切ってください	エンコーダーの設定がされていません		
ER11	時計エラー	コントロールユニットに問題があります	コントロールユニットに問題があります	指定の専門家へ連絡をお願いします
ER12	点火失敗	ペレットタンクが空です	ブロック解除をし、ペレットを補充してください	ペレットタンクを補充してください
		点火ヒーターが壊れています	ブロック解除をし、バーナーを掃除してから再度点火してください。その後点火が成功しない場合は、点火ヒーターを取り換えてください	指定の専門家へ連絡をお願いします
		バーナーが汚れています	ブロック解除をし、バーナーを掃除して、再度点火してください	バーナーを掃除してください
ER15	停電のため、スイッチを切ってください	停電	電源システムが構成の一部に問題があります	指定の専門家へ連絡をお願いします
Link Error	ストーブへの信号がありません	液晶ディスプレイとコントロールユニット間で伝達欠如しています		指定の専門家へ連絡をお願いします
SOND	例外調査	調査に問題があります		指定の専門家へ連絡をお願いします

06-保障条件と修理のご依頼

- 本ペレットストーブの保証期間は、保証書ページに記載されている日付から 1 年間になります。
- リンカルジャパンによる保証は日本国内の全地域が対象であり、本ペレットストーブの製造部品および欠陥品であると認められた部品の交換費用全額も含まれます。ただし、ガラスや通常お使いいただく消耗品は除きます。

保証条件

- **本製品設置から 1 ヶ月以内に保証書の写しを弊社住所まで郵送または FAX にてお送り下さい。**そして、お持ちの保証書を販売店にお見せください。前述条件が欠けている場合、保証はできかねます。
- お客様(購入者)が購入にあたり契約の支払方法を規定通りに行い、いかなる理由においても支払いの遅延がない場合。
- **製品異常が製造工程での欠陥によるものであり、誤った使用方法やメンテナンスの不足によるものではないことが明らかである場合。**

保証対象外

- 設置時に保証書の送付が行われていない場合。保証書を所持されていない場合。また、記載された字句に書き替え、書き加えがある場合。
- 本取扱説明書の規準に記載されている設置基準と一致していない。または、製品仕様一覧にある排気管サイズと違うものを使用したことが原因で起きた不具合の場合。
- 本ストーブが使用されている部屋の中で異常な環境の原因があるとき。または、大気・気候・化学・電気化学的要因による被害・損害があるとき。
- 弊社登録販売代理店以外による設置・無許可の改造・不適当な使用などによって生じた運転の不具合があるとき。
- 湿気を含んでいる燃料等、適さない燃料の使用、取扱説明書に指示されている燃料と異なる燃料を使用したとき。
- 本体の清掃、日常のお手入れ(灰の掃除)
- ガラス部分および通常の使用で消費される部品
- 落として生じた際の故障や、当社に責任のない運搬による損害。**設置する前の荷受けの段階で、本ストーブに故障等ないことを確認してください。**
- セラミック部分の色の違いや細かな寸法のわずかな誤差は、その材質の自然な特徴なので、保証請求の理由にはなりません。

リンカルジャパンは、取扱説明書に記述されている指示全てに十分に従わない場合や、誤った設置方法、本体の不正な改良、不適切な使い方、不十分なメンテナンス、乱暴な使い方、現行の規制や法令の違反などの理由で、直接的または間接的に人・物・動物に被害をもたらした場合は、その責任を負いません。弊社は取扱説明書にある本ストーブ設備の特徴を、予告なしに手直しをする権利を留保します。この取扱説明書に説明されている部品や付属品は量産品ではないため、部品代等の費用はご購入販売店にお問い合わせください。

保証に含まれる修理をご依頼される際は、保証書を提示の上ご購入先の販売店へご連絡下さい。

本製品設置から 1 ヶ月以内に本紙の写しを弊社住所まで郵送または FAX にてお送り下さい。

期間内の送付が確認できない場合は保証の対象外となりますので、ご理解の程お願いいたします。

施主様控え

保 証 書

機種名

製造番号

MORETTIDESIGN
GRUPPO FUTURE IS NOW

ペレットストーブ は厳重な品質管理と検査の上お届けしたものです。正常なご使用状態で
取扱説明書の保証規定によって、販売店が責任修理をいたします。

11

様

()

- * 修理の場合は本保証書を提示の上ご依頼下さい。
 - * 本保証書は再発行いたしませんので大切に保存して下さい。
 - * 設置から 1 ヶ月以内に本紙の写しを下記住所まで郵送または FAX にてお送り下さい。
- 上記が守られない場合は保証の対象外となりますので、ご理解の程お願いいたします。



株式会社

株式会社 **ニッパウ** ニッパウ

lincarjapan@lagoon.ocn.ne.jp

保証・サービスに関して

1. 保証書は、内容をご確認の上保存してください。
2. 保証期間中に正常な使用方法で、万が一故障を生じた場合には、保証書記載事項に基づき[無償修理]いたしますので、お求めの販売店にお見せください。
3. 修理を依頼される前にこの取扱説明書をよくお読みの上、なお異常のある際は(保証期間中の場合は保証書をお示しの上)、販売店にお申し出ください。

◆修理を依頼される場合は、保証書に記載されている販売店へ下記の項目をできるだけ詳しくご連絡ください。
尚、(2)～(4)については保証書をご覧ください。

- (1)故障状況
- (2)機種名
- (3)製造番号
- (4)設置年月日

お問い合わせおよび MORETTI ペレットストーブのご注文は下記へご連絡ください。

販売店様名

住所

電話番号

e-mail アドレス

総輸入販売元



〒515-0104 三重県松阪市高須町 3460-125

TEL 0598-51-3308

FAX 0598-51-3307

www.lincarjapan.com

lincarjapan@lagoon.ocn.ne.jp

[memo]

販売代理店

総輸入販売元



〒515-0104 三重県松阪市高須町 3460-125
TEL : 0598-51-3308 FAX : 0598-51-3307
HP : <http://www.lincarjapan.com>
MAIL : lincarjapan@lagoon.ocn.ne.jp

製造元



FACTORY - HEADQUARTER
C.da Tesino, 51 San Salvatore
63065 RIPATRANSONE (AP) Marche Italy
TEL : +39 0735.90444 FAX : +39 0735.907452
info@moretticamini.it